

TAC-Keio SFC Enteprenurship Seminar and Business Plan Competiton 米国大使館 & 慶應義塾 SFC アントレプレナーシップセミナー & ビジネスコンテスト

2/8 ~ 10

<ゲストスピーカー>

慶應義塾大学 SFC と米国大使館 / TAC は、東日本大震災からの復興と経済再生、さらなる発展にはこれを担う人材育成が必須であると考え、起業家精神を持った人材の発掘、育成のためセミナーと復興に向けたビジネスアイデアプランコンテストを2泊3日の日程で開催しました。コンテストには、被災地域の大学に通う学生や大学院生のチームを中心に、全国から19チームの応募があり、一次審査を通過した12チームが招待されました。参加学生は、ゲストによるレクチャーや、支援者、メンター、ベンチャーキャピタリスト、研究者等のアドバイザーからのブラッシュアップを受け、コンテスト形式のコンペを経験することで実践力を高める機会となりました。また、著名な起業家や支援者との接点と、学生同士のネットワークの構築も図られ、

この機会に形成された学生と支援者のコミュニティが、全国から起業家精神あふれる学生が生まれ育つためのきっかけの場となりました。閉会式ではジョン・ルース駐日米国大使サイン入りの修了証が、参加者全員に贈られました。

Allen Miner 氏
(株)サンブリッジ代表取締役兼 CEO
Sungene Ryang 氏 IDEO 東アジア地区
マネージングディレクター
今村久美氏
特定非営利活動法人カタリバ代表
熊谷正寿氏 (株)GMO インターネット
代表取締役会長兼社長・グループ代表



会場：2/8・9 慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎シンポジウムスペース
2/10 新丸ビル日本創生ビレッジ
主催：米国大使館 / 東京アメリカンセンター (TAC) / 慶應義塾大学 SFC 研究所 / KIEP
後援：慶應義塾大学研究連携推進本部
協力：日本創生ビレッジ / (株)サンブリッジ / SFC-IV
協賛：相模興業(株) / (株)グロービス

フィンランドからの藤沢市来賓

1/18

藤沢市来賓で、フィンランドのエスポー市研究機関の出資で設立されたコンサルファーム Otaniemi のリー・エウイン氏が来訪。施設概要説明を受けた後、KIEP、(株)音力発電、NPO 地域魅力などの入居者を訪問し、活動や事業について直接説明を聞き、音力発電の「発電床*」のデモも体験しました。



エウイン氏(左)とKIEP事務局スタッフ

徳島県視察団

3/13

徳島県の集落再生プロジェクトに取り組んでいる徳島県東京本部長の秋川氏、NPO グリーンバレーの大南信也氏、(株)ベルシオン代表取締役大村正樹氏他5名が視察に来られ、IMからのSFC-IVの取組などの説明の後、施設を見学しました。



News

シユアール 東アジア初 アショカ・フェロー選出 3/12

入居者のシユアール代表大木氏が、アショカ日本支部より東アジア初のアショカ・フェローとして選出され、英治出版ホールでの記者会見で発表されました。ワシントン DC に本部を置くアショカはソーシャル・アントレプレナーを支援する世界的な団体で、審査により支援対象となるフェローを選出し、支援を行っています。代表的なフェローにはグラミン銀行の創設者ムハマド・ユヌス氏などが名を連ね、今後、世界的なネットワーク中での活躍が期待されています。



大木氏

消防訓練実施 3/23

平成23年度の消防訓練が、入居者も多数参加し行われました。SFC-IVの安全管理連絡会について説明の後、施設管理業者の(株)光和の防火管理者、総合警備保障(株)からそれぞれ消防設備、警備体制についてご説明いただき、消防署より初期消火と通報の際の注意点についてお話を伺いました。その後、屋外で訓練用の消火器を使って消火器操作を体験しました。



Topic

Keio Fujisawa 慶應藤沢 イノベーションビレッジ通信 Innovation Village

No.22

IV通信 春号
2012年4月発行

SFC-IV Entrepreneurship Seminar10 (P.1)

「クリエイター起業家によるベンチャービジネスと地域活性化への挑戦」

SFC-IV セミナー (P.1)

「スティーブ・ジョブズのイノベーションと知財戦略」

サムライインキュベーター共同イベント (P.1)

「Startup Forum for Students」

～スタートアップ企業の立ち上げにかかわりたい・興味がある学生たちへ～

米国大使館 & 慶應義塾 SFC アントレプレナーシップセミナー & ビジネスコンテスト (P.3)

協創マッチングフォーラム / スペースリンク(株)・(株)音力発電 (P.2)

T-BISC ビジネスマッチング / (株)アンドウ・ディーケイ (P.2)

新入居者紹介 / スペースリンク(株) (P.2)

SFC-IV CREATORS' RYOZANPAKU

ベンチャーの集積と創発の場

SFC-IV 2階ラウンジ

起業家予備軍の活動場所

SFC-IV では、人が集まる「場」も提供しています

Coworking Space

SFC-IV

慶應藤沢イノベーションビレッジ (SFC-IV) は、中小企業基盤整備機構が大学および地域と連携して運営する起業家育成施設です。起業家や新事業に取り組む事業者の立ち上げ期を総合的に支援します。

SFC-IV Entrepreneurship Seminar 10

「クリエイター起業家によるベンチャービジネスと地域活性化への挑戦」

- <第1部> 基調講演 テーマ「ICTクリエイターの育成と地域活性化の取り組み」
講師：(財)大阪市都市型産業振興センタークリエイティブネットワークセンター大阪
メビック藤町 所長・チーフコーディネーター 堂野智史氏
- <第2部> ICTベンチャー 事業活動の紹介「クリエイタービジネスと地域活性化への挑戦」
Xarts (株)代表取締役社長 和田昌之氏 / (株)VERSION2 代表取締役 大西昭夫氏
シュアールグループ代表 大木洵人氏 / (株)クレオファガ代表取締役社長 西尾周一郎氏
- <第3部> パネルディスカッション テーマ「地域活性化×ICTクリエイター×ベンチャーの可能性」
パネリスト：堂野智史氏 / 和田昌之氏 / 大西昭夫氏 / 大木洵人氏 / 西尾周一郎氏
アドバイザー：(独)情報通信研究機構 (NICT) 産業振興部門長 藤田清太郎氏



堂野氏

地域活性化をテーマに、ICTビジネスと地域活性化の両立により各地で活躍する地域発のクリエイターや起業家をパネリストにお迎えし、広い視野で全国の起業家の知見を収集したオープンイノベーションに資する機会を目指し、セミナーを開催しました。最初に、世良 CIM が SFC-IV の取り組みを報告し、藤田氏より NICT の ICT 起業家支援施策についてご紹介いただきました。第1部の基調講演は、関西で活躍されているメビック藤町所長の堂野氏に、クリエイターや起業家による情報発信やネットワークづくり、人材

育成の取り組みの事例などをご紹介いただきました。第2部では、各地で活躍する ICT ベンチャーの起業家の方々にそれぞれの事業活動についてお話をいただきました。Xart (株)の和田氏は、アニメやゲームをコンテンツに大阪で起業した経緯や、現在の秋葉原や鎌倉、京都などでの地域活性化事業への取り組み、特に鎌倉の事例を中心に紹介しました。北大ビジネススプリングに入学し札幌を拠点に活躍する(株)VERSION2の大西氏は、北海道大学メディアコミュニケーション研究院と共同研究で開発した Web ラーニング

プラットフォームと、企画開発を通じて地域教育振興や教育のデジタル化への取り組みを発表しました。シュアールグループの大木氏は、起業の経緯とプレスリリースされたばかりの手話による観光案内アプリ『Shuwide』を紹介しました。岡山インキュベーションセンターに入居している(株)クレオファガの西尾氏は、開発、運営している音楽クリエイター発掘を目的とした Web 交流サイトと、クリエイターの発掘と産業活性化への取り組み事業の事例として、岡山県津山市の当地アイドルの楽曲募集コンテストなどを発表しました。第3部のパネルディスカッションでは、地域活性化の観点からの ICT クリエイターのベンチャービジネスによる可能性について活発な議論が交わされました。



和田氏 大西氏 大木氏 西尾氏

SFC-IV CREATORS' RYOZANPAKU Seminar

「スティーブ・ジョブズのイノベーションと知財戦略」

講師：松倉秀実氏 慶應義塾大学特任教授、弁理士 (秀和特許事務所)

慶應義塾大学特任教授で弁理士の松倉氏をお迎えし、アップルのスティーブ・ジョブズの発明やデザインの知財戦略について講演していただきました。松倉氏は数十社のベンチャー顧問企業に、知財で事業価値を高め数年後の市場をブルーオーシャン化する事業戦略を指導されています。講演では、「スティーブ・ジョブズ

が作ったアップルという企業」「アップルのビジネスモデル」「ライバル(ゲール)のビジネスモデルとの対比」「デザイン・UI 戦略にみるスティーブ・ジョブズのイノベーション」等の項目ごとに具体的な iPad や iMac の特許事例を挙げて解説されました。ジョブズからベンチャーが学ぶべきことなど

Samurai Startup Island イベントスペース



日本のベンチャー企業が活力を持つためのヒントが得られるセミナーとなり、学生や起業家、IT 企業関係者等約 120 名の参加者がありました。

2/28

Startup Forum for Students

「スタートアップ企業の立ち上げに関わりたい・興味がある学生たちへ」

講演者：(株)ソーシャルリクルーティング CEO 春日博文氏 / (株)ビジョナリー・ファン CEO 松田佳祐氏
主催：(株)ビジョナリー・ファン / (株)サムライインキュベーター 協力：(株)ソーシャルリクルーティング

起業を目指しているまたは興味を持つ学生に向けて、新しいサービスを作り、世界をより良くしようと貪欲に活動するスタートアップ企業たちを紹介し、参加した起業家たちとの出会いの場を提供するフォーラムに、SFC-IV が共催参加しました。コンテンツ1では、「スタートアップ企業が変わる『これからの就活/採用のスタイル』」をテーマにビジョナリーファン松田氏とソーシャルリクルーティング春日氏が対談し、学生にとって身近

かつ重要なテーマである「就活」を、スタートアップ企業がどのように解決していくのか、インターンからの採用、ソーシャルメディアを使った就職活動などが紹介されました。コンテンツ2では、「スタートアップ企業による起業ストーリー秘話」と題して、熱い想いとビジネスプランを持ち起業したスタートアップ企業10社の秘話を紹介し、「起業」という道を選んで、新しいサービスを生み出している社長たちから「なぜ起業しよう

と思ったのか、どのような背景でサービスが生まれたのか」などの話があり、SFC-IV からは NPO 法人シュアールが参加しました。コンテンツ3では、学生とスタートアップ企業による交流会が行われ、今後のビジネスについてまたインターンの相談など興味ある企業と話す機会となりました。

Samurai Startup Island イベントスペース



2/4

協創マッチングフォーラム

東京ステーションカンファレンス 5 階会議室



音力発電

KSP (かながわサイエンスパーク) が、国内外のサイエンスパーク、インキュベータとの豊富なネットワークと広域的な連携の活用し、2003 年から行っているもので、優れた技術をもつ中小ベンチャー企業と事業シーズを求めるメーカーとのオープンなマッチングイベントです。SFC-IV から、スペースリンク(株)と音力発電が参加しました。スペースリンクの阿部氏はカーボンナノチューブを応用した積層型電気二重キャパシタについてプレゼンし、音力発電の守田氏は振動を利用した発電技術のマイクログリッドやセンサネットワークへの応用を発表しました。発表後は、IM 同席のもと多くの企業とのマッチングが行われ、2社ともに注目されていることがうかがわれました。



スペースリンク 株



株アンドウ・ディーケイ

スペースリンク株式会社

105・212・213 号室

事業内容

スペースリンク(株)は、宇宙用電子機器の研究開発および製造をしています。宇宙開発を低コスト、高性能な電子機器(民生品を用いた宇宙機器)の開発を目指しています。現在は主として小型衛星用 GPS 受信機の開発に取り組んでいます。ロケット搭載用 GPS 受信機【IGPS-1】は軌道高度 2,000km 以内の軌道を飛行する小型衛星に搭載された過去の実績(れいめい他日本で数機)をベースに開発。軌道上位置や速度および時刻を送出します。小型軽量で搭載性が良く、比較的低温格でご提供する事ができます。【IGPS-2】では、高速計算機と FPGA の組み合わせでデータ処理回路を構成し、放射線耐性などの確認も実施しています。【IGPS-3】は、GPS 衛星や準天頂衛星などを同時に受信する「マルチ GNSS 対応 GPS 受信機」で、高精度測位を可能に、宇宙、民生分野を問わずユーザーが独自のアプリケーションを組み込むことができます。将来的には車載用、航空機用、測量用等も視野に入れています。また、カーボンナノチューブ (CNT) の応用開発にも取り組み、キャパシタとアクチュエータを製造し、車や宇宙への応用を目指しています。



代表の阿部氏(中央)とスタッフのみなさん

T-BISC ビジネスマッチング

アライアンスによる次世代を担うロボット産業の創出
機会振興会館 B3 会議室

全国のビジネスインキュベータ・産業支援機関と機械振興協会が協力運営するベンチャー・中小企業の東京の営業拠点である T-BISC (東京ビジネスインキュベーションサポートセンター) が、4 月のオープン前に機械振興協会等に関連する大手企業とベンチャー・中小企業のビジネスマッチングを開催しました。SFC-IV から、(株)アンドウ・ディーケイが参加し、安東氏は自社が開発した半導体用エポキシ系接着剤についてプレゼンし、その後大手企業と商談を行いました。また、同日、SIC (さがみはら産業創造センター) が連携している台湾とのネットワークを共有し日台の IM

間の情報交流の場となる「日台 IM ワークショップ」も開催されました。

代表者メッセージ

宇宙開発・・・。ほぼ 30 年前から始まった日本の宇宙開発は、いまや国民の生活や経済活動に欠かせないものとなりました。かつて、これほど多くの人工衛星が作られ打ち上げられるとはだれも考えなかったことでしょう。人工衛星が新たな変革を巻き起こしていることに、疑いの余地はありません。しかも、この「変革」はまだ始まったばかりと言えます。今後、「宇宙」が国民にもっと身近なものとなり、学生や、企業家、研究者が宇宙空間を利用し、観測し、より深い理解と利用を進めて行くことでしょう。宇宙開発により得られた知見は、これまでの価値観を一気に変えてしまう、無限の可能性を秘めています。我々は、宇宙産業の成長の牽引役となり、新しい社会の創出に貢献したいと考えます。誰にでも挑戦するチャンスのある新しい社会を創り出すこと、それこそが社会貢献につながると思っています。測位衛星を最大利用する事で社会が活性化された「新時代」に向けて、ユーザーの要求に答えるべく、社員一同新たな知識・技術を吸収・発揮する事に尽力していきます。そしてそれが、宇宙用・民生用を通して、地域社会の貢献につながる事を強く願っています。ものづくりに集中し、専門分野でトップを目指していきます。

代表取締役社長 阿部 俊雄

スペースリンク株式会社
神奈川県藤沢市遠藤 4489-105 212
TEL: 0466-65-2282 FAX: 0466-65-2282
代表者: 阿部 俊雄
設立: 2004 年 5 月 18 日
資本金: 1,000 万円
URL: <http://www.spacelink.biz/>

